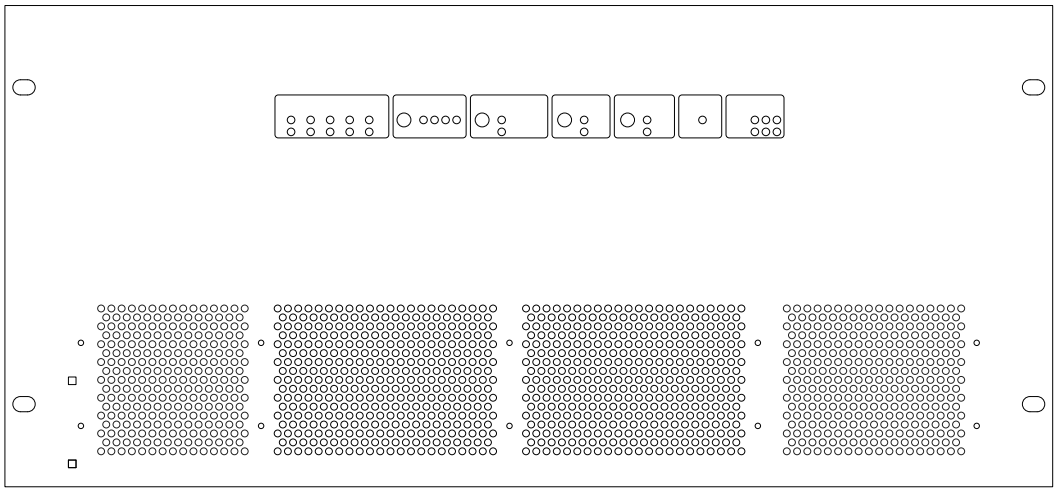
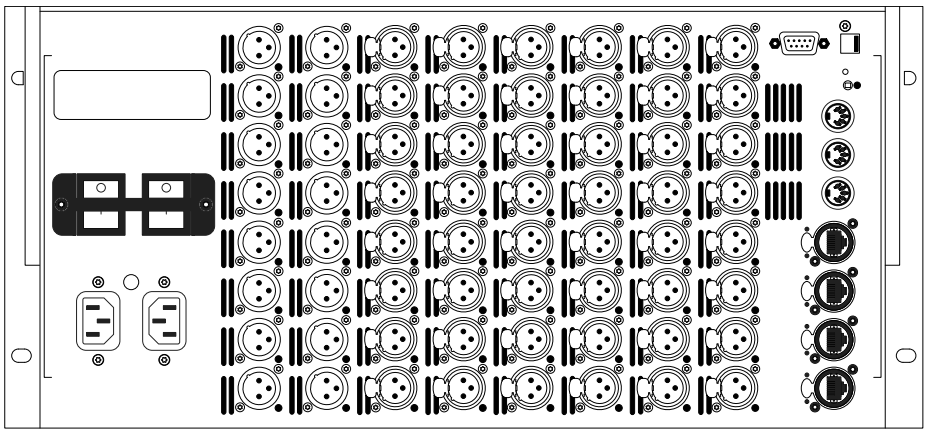
取扱説明書

JP





DL251/DL252 Audio System I/O

48 Input, 16 Output Stage Box with 48 Midas Microphone Preamplifiers

MIDAS

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

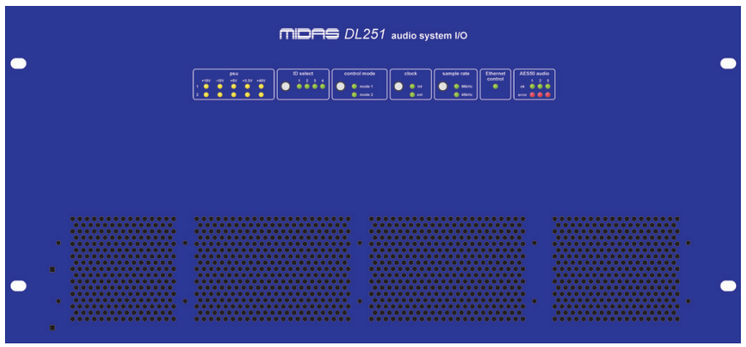
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

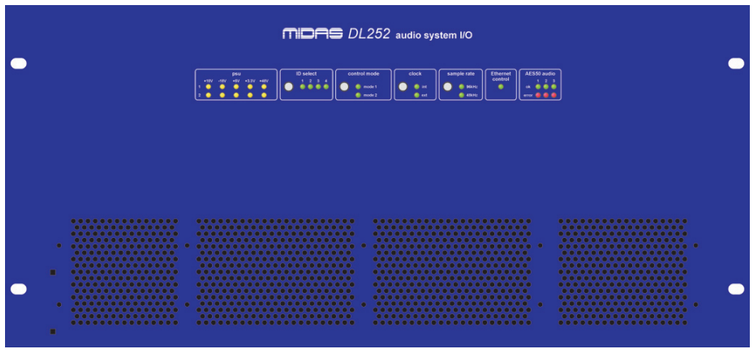
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

DL251/DL252 はじめに



DL251



DL251

JP

1. はじめに

ようこそ!

DL251 / DL252 オーディオシステム I / O をお買い上げいただきありがとうございます。

DL251 および DL252 オーディオシステム I / O は、Midas デジタルシステムで使用するために設計された 19 インチラックユニットです。

DL251 / DL252 オーディオシステム I / O は、Midas が考案したもので、オーディオプロフェッショナルに高性能オーディオ機器を提供します。これは、妥協のない音質を提供するように設計されており、すべての重要な機能と機能を提供する機能セットを備えています。それは、現代的で効率的な製造方法と組み合わされた英国の最高の設計とエンジニアリングを表しており、長年の信頼できるサービスを提供します。

したがって、最小限の労力で最良の結果を得るには、この取扱説明書をお読みになり、最後に Midas DL251 / DL252 オーディオシステムI / Oをお楽しみください。

主な機能

DL251 / DL252 オーディオシステム I / O には、次の主要な機能があります。

- **マイク/ライン入力** DL251 には 48 個のマイク/ライン入力があり、DL252 には 16 個のマイク/ライン入力があります。
- **ライン出力** DL251 には 16 個の出力があり、DL252 には 48 個の出力があります。
- **オペレーターインターフェース** フロントパネルの一連のセクションには、操作/構成ステータスをオペレーターに伝えるための LED があります。一部のセクションには、クロックソース、サンプルレートなど、ユニットのパラメータを設定するための設定ボタンがあります。
- ミディどちらのユニットにも、入力、出力、スルーの **MIDI** ソケットが標準で付属しています。(Midas コンソールでのみ使用します。)
- **AES50** 3 つの AES50 入力/出力は、N + 1 ケーブル冗長性用に構成された EtherCon®XLR を介してコンソール/スネークへの接続を提供します。
- **サンプルレート** 96 kHz と 48 kHz のサンプルレートを切り替え可能。
- **イーサネット** 背面パネルの**イーサネット制御**ソケットにより、最大 100m の長さの Cat5e ケーブルを介したイーサネット制御が可能になります。
- **広告** アナログからデジタルへの変換は、デフォルトで 24 ビット、96 kHz です。
- **ゲイン範囲** 2.5 dB ステップで -2.5 dB から + 45 dB まで。
- **ミュート** リアパネルの **MUTE** ボタンは、1秒以上押し続けると、ステージ上のパッチのためにすべての出力を同時にミュートします。
- **起動モード** 背面パネルの埋め込み式ブートモードボタンは、通常の操作とサービス担当者のみの構成ブートモードのどちらかを選択します。
- **診断** 背面パネルのDタイプのコネクタにより、ユニットの診断 (サービス担当者のみ) を実行できます。
- **電源供給装置** それぞれがデュアルロッキングメインコネクタを備えたデュアル冗長電源。

このマニュアルについて

DL251 オーディオシステム I / O および DL252 オーディオシステム I / O の取扱説明書です。これは、開梱、設置、接続、セットアップ、および操作の手順を説明することにより、ユニットをできるだけ早く設置して操作できるようにすることを目的としています。DL251 / DL252 に慣れるために、フロントパネルとリアパネルの説明と、わかりやすいユーザー指示があります。

DL251/DL252 はじめに

2. はじめに

このセクションでは、DL251 / DL252 ユニットを開梱、設置、接続、電源投入、および構成する方法について説明します。

この装置は、感電の原因となる可能性のある主電源電圧によって供給されます。

この装置を設置、セットアップ、または操作する前に、このセクションのすべてと、このマニュアルの冒頭にある「重要な安全上の注意」を読み、完全に理解していることを確認してください。

ユニットの上部カバーにある追加の安全情報を参照してください。

開梱

DL251 / DL252 機器パッケージを慎重に開梱します。

次に、DL251 / DL252 ユニットを注意深く検査して、輸送中に発生した可能性のある損傷の兆候がないかどうかを確認し、損傷が見つかった場合はすぐに宅配便業者に通知します。

DL251 / DL252 機器パッケージの内容を確認してください。不足している、正しくない、または欠陥のある部品がある場合は、このマニュアルの冒頭にあるアドレスの最寄りの販売代理店または Midas に連絡してください。

機器を製造元またはサプライヤに返却する必要がある場合、または後でユニットを輸送または出荷する必要がある場合に備えて、元の梱包を保持してください。

インストール

この装置を設置して操作する前に、各主電源リード線を介して主電源電圧供給ソケット出口の保護接地導体に正しく接続されていることを確認してください。

理想的には、配電設備やその他の潜在的な干渉源から離れた、涼しい場所が望ましいです。

換気の悪い場所に機器を設置しないでください。

過度の熱、ほこり、または機械的振動にさらされる場所にこの装置を設置しないでください。機器の周囲に十分な換気を行い、ファンと通気口が塞がれていないことを確認してください。可能な限り、機器を直射日光にさらさないでください。

ラックにのみ取り付けてください。

力

ユニットの電源を完全に切るには、両方の電源コードを抜く必要があります。

内部電源は、入力主電源電圧を自動的に検出するスイッチモードタイプであり、公称電圧が 100VAC～240VAC の範囲にある場合に機能します。

背面パネルには 2 つのメインインレットがあります。ユニットが出荷されたエリアで接続するための正しいリード線は、ユニットに付属しています。機器は、付属のリード線を使用して主電源コンセントにのみ接続する必要があります。

各メインインレットは、壁に取り付けられた独自のメインアウトレットソケットから供給される必要があります。そうでなければ、彼らのメイン

地域の安全規制を満たすために、発生源を適切に配布する必要があります。

付属の各メインケーブルに取り付けられている Volex ロックタイプのプラグが、ユニットのメイン IEC コネクタにしっかりと取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられると、Volex プラグが所定の位置にロックされ、緩んだり、誤ってノックされたり、引き抜かれたりするのを防ぎます。Volex プラグを取り付けたり取り外したりするときは、プラグ自体を常に持ち、ケーブルを使用しないでください。ケーブルが損傷する可能性があります。濡れた手でコンセントを抜き差ししないでください。

ユニットのオン/オフを切り替えるときは、主電源スイッチのオン/オフを一度に1つずつ切り替えます。それらを同時にオン/オフに切り替えないでください。

機器の取り扱い

機器を持ち上げたり移動したりするときは、常にそのサイズと重量を考慮してください。

機器を電気的に完全に隔離し、すべてのケーブルを機器から外してから移動してください。

通気口など、機器の隙間や開口部に指や手を挿入しないでください。

JP

電界

FCC 規則および規制のパート 15 に従い、「…コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。」

この製品を可聴周波数信号（20Hz～20kHz）で振幅変調された電磁界で使用すると、信号対雑音比が低下する場合があります。

極端な条件下（3V / m、90％変調）では、変調信号に対応する周波数で最大 60 dB の劣化が発生する可能性があります。

接続する

次のようにユニットの背面パネルを接続します（34 ページの第 5 章の接続を参照）。

- **入力** — XLR マイク/ライン入力を接続します（DL251 では最大 48、DL252 では最大 16）。
- **出力** — XLR ライン出力を接続します（DL251 では最大 16、DL252 では最大 48）。
- **AES50 オーディオ** —**AES50 オーディオ**ソケットをコンソール/スネークに接続します。
- **イーサネット** —必要に応じて、スネーク構成で使用する場合は、**イーサネット制御**ソケットを外部コンピューターに接続してリモート制御します。
- **ミディ** —必要に応じて、3 つの MIDI5 ピン DIN コネクタを MIDI 機器に接続します。（Midas コンソールでのみ使用します。）
- **主電源**—主電源ケーブルのデュアル冗長 IEC コネクタをユニットの背面に接続してから、別々の主電源コンセントに接続します（34 ページの「DL251 とデジタルコンソール（96 kHz 動作）」を参照）。

オン/オフの切り替え

ユニットのオン/オフを切り替えるときは、2 つのメインのオン/オフスイッチを次々に押します。それらを同時に押さないでください。

DL251 / DL252 を接続すると、電源を入れる準備が整います。

>> DL251 / DL252 ユニットのスイッチをオンにするには

ユニットの背面にあるメインのオン/オフスイッチを次々にオンにします。ユニットの前面で、電源パネルの LED がすべて点灯していることを確認します。

>> DL251 / DL252 ユニットをオフにするには

ユニットの背面にあるメインのオン/オフスイッチを次々にオフにします。

>> Volex ロックタイプのメインプラグを取り付け/取り外します

Volex ロックタイプのプラグは、付属の各メインケーブルに取り付けられており、ユニットのメイン IEC コネクタに接続します。正しく取り付けられると、Volex プラグが所定の位置にロックされ、緩んだり、誤ってノックされたり、引き抜かれたりするのを防ぎます。

Volex プラグを取り付けるには、メインのIECコネクタに挿入し、所定の位置にロックされるまで押し込みます。次に、しっかりと固定されていることを確認します。

Volex プラグを取り外すには、ロック装置を解放してから引き出します。**ケーブルを保持しないでください。ケーブルが損傷する可能性があります。**

構成

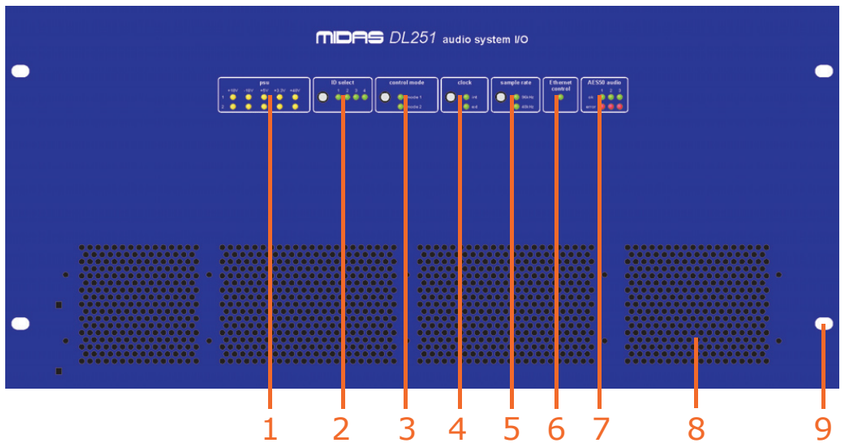
DL251 / DL252 をオンにした後、必要に応じて以下を構成できます。

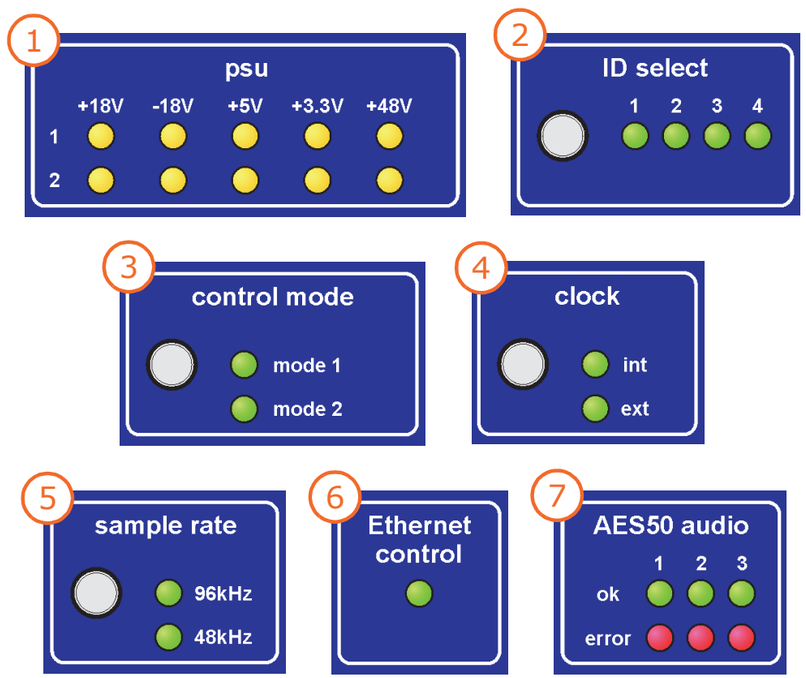
- ID 番号。
- 制御モード。
- クロックソース。
- クロックソースのサンプルレート。

>>オプションを設定するには

目的のセクションで、丸いボタンを繰り返し押して、目的の LED が点灯するまでオプションを切り替えます。

DL251/DL252 フロントパネル





JP

3. フロントパネル

psu パネルは、2 つの電源を監視します。電圧源ごとに5つの黄色の LED があり、各 LED は電圧レールを表します。LED は、それぞれの電圧レールがアクティブになると点灯します。

ID 選択パネルでは、ユニットの ID 番号を選択できます。これは、システムによって認識され、ネットワーク内の他の同様のユニットと区別される一意の番号です。4 つの緑色の LED の1つが点灯して、現在選択されているIDを示します。

この**制御モード**パネルでは、ユニットの制御モードを選択できます。このパネルの押しボタンを使用して、ユニットがコンソールに接続されている場合は**モード 1** を選択し、ユニットがスネーク構成で使用されている場合は**モード 2** を選択します。2 つの緑色の LED のいずれかが点灯して、どちらの制御モードが選択されているかを示します。

時計パネルでは、ユニットの同期ソースを選択できます。このパネルのプッシュボタンを使用して、ユニットの内部クロック（**int**）または外部 AES50 ソース（**ext**）を選択します。外部ソースは、接続されたデバイス（通常は Midas デジタルコンソール）のクロックであり、その信 号は AES50 オーディオコネクタを介して送信されます。2 つの緑色の LED のいずれかが点灯して、どちらのクロックソースが選択されているかを示します。

サンプルレートパネルには、現在選択されているサンプルレート（96 kHz または 48 kHz）を示す 2 つの緑色の LED があります。

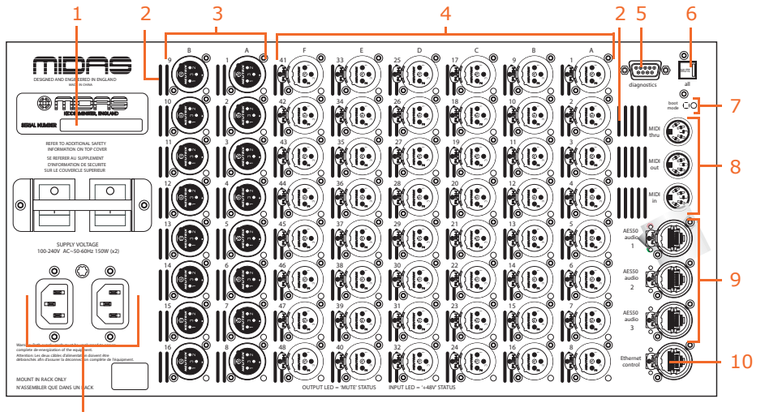
イーサネットコントロールパネルには単一の緑色の LED があり、3 つの照明状態があります。点滅=アクティブ。on = 接続済み; オフ=接続されていません。

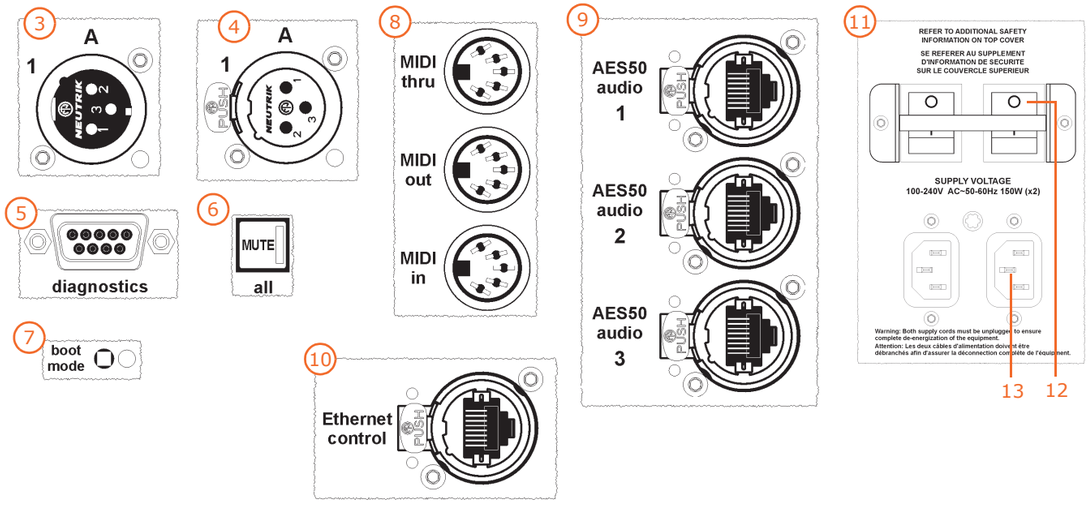
AES50 オーディオパネルには、AES50 接続の通信の正常性ステータスが表示されます。緑色の **OK** LED が点灯している場合、通信は良好です。ただし、赤い**エラー** LED が点灯している場合は、その接続に問題があります。

ファン冷却用の 4 つの吸気口があります。**邪魔しないでください。**

ラックマウント固定用の 4 つの切り欠きがあります。

DL251/DL252 リアパネル





JP

4. リアパネル

1 ユニットのシリアル番号ラベル。

2 ユニット内部のファン冷却用の空気取り入れ口を提供する換気グリル。

3 ライン機器の出力を提供するオス XLR シャーシコネクタ。各ソケットには、その出力のミュートがオンになると点灯する赤い LED があります。

4 マイク/ライン機器への入力を提供するメスの XLR シャーシコネクタ。各ソケットには、その入力に対して + 48V ファンタム電源がオンになると点灯する赤い LED があります。

5 **診断**コネクタは、診断目的でサービス担当者がラップトップ/ PC を接続するための 9 方向Dタイプコネクタです。**これはオペレーター機能ではなく、サービス担当者のみが使用します。**

6 **MUTE** ボタンを 1 秒以上押し続けると、すべての出力が同時にミュートされます。ミュートがアクティブになると点灯する LED が内蔵されています。

7 **ブートモード**スイッチは、通常の操作とサービス担当者のみの構成ブートモードのどちらかを選択します。隣接する赤色の LED があり、ユニットがサービス専用構成モードになっていることを示すために点灯します。

8 シンセサイザーなどの MIDI デバイスを接続するための 3 つの MIDI (楽器デジタルインターフェース) ソケット (**MIDI 入力**、**MIDI 出力**、**MIDI スルー**) があります。**MIDI 入力**ソケットは MIDI データを受信し、**MIDI スル**ーソケットは **MIDI 入力**ソケットで受信したものと同じ MIDI データを出力します。**MIDI 出力**ソケットは、接続されている Midas DigitalConsole によって生成された MIDI データを出力します。

9 3 つの **AES50 オーディオ** EtherCon® ソケットは、コンソール/スネークへの接続を提供し、オーディオと制御データを両方向に渡します。各ソケットには、赤と緑の LED のペアがあり、次のことを示します。

- 緑の脈動と赤の消灯=有効な音声と有効な制御データ。アクティブなリンク。
- 緑は常に点灯し、赤は消灯=有効な音声と有効な制御データ。スタンバイリンク。
- 緑が消え、赤が点灯=音声なし。リンクに失敗しました。

10 **イーサネット制御** EtherCon® ソケットは、スネーク構成で使用される場合、リモート制御のために外部コンピューターへの接続を提供します。このソケットには、次のことを示す赤と緑の LED のペアがあります。

- 緑色の LED が点灯=両端でケーブルが接続されています。
- 緑色の LED が消灯=ケーブルの両端が接続されていません。

主電源

各メインインレットは、壁に取り付けられた独自のメインアウトレットソケットから供給される必要があります。 それ以外の場合は、地域の安全規制を満たすために、両方の主電源を適切に分散させる必要があります。

メインは、デュアル冗長メインインレットを介して DL251 / DL252 に供給されます。

11 デュアル冗長電源。

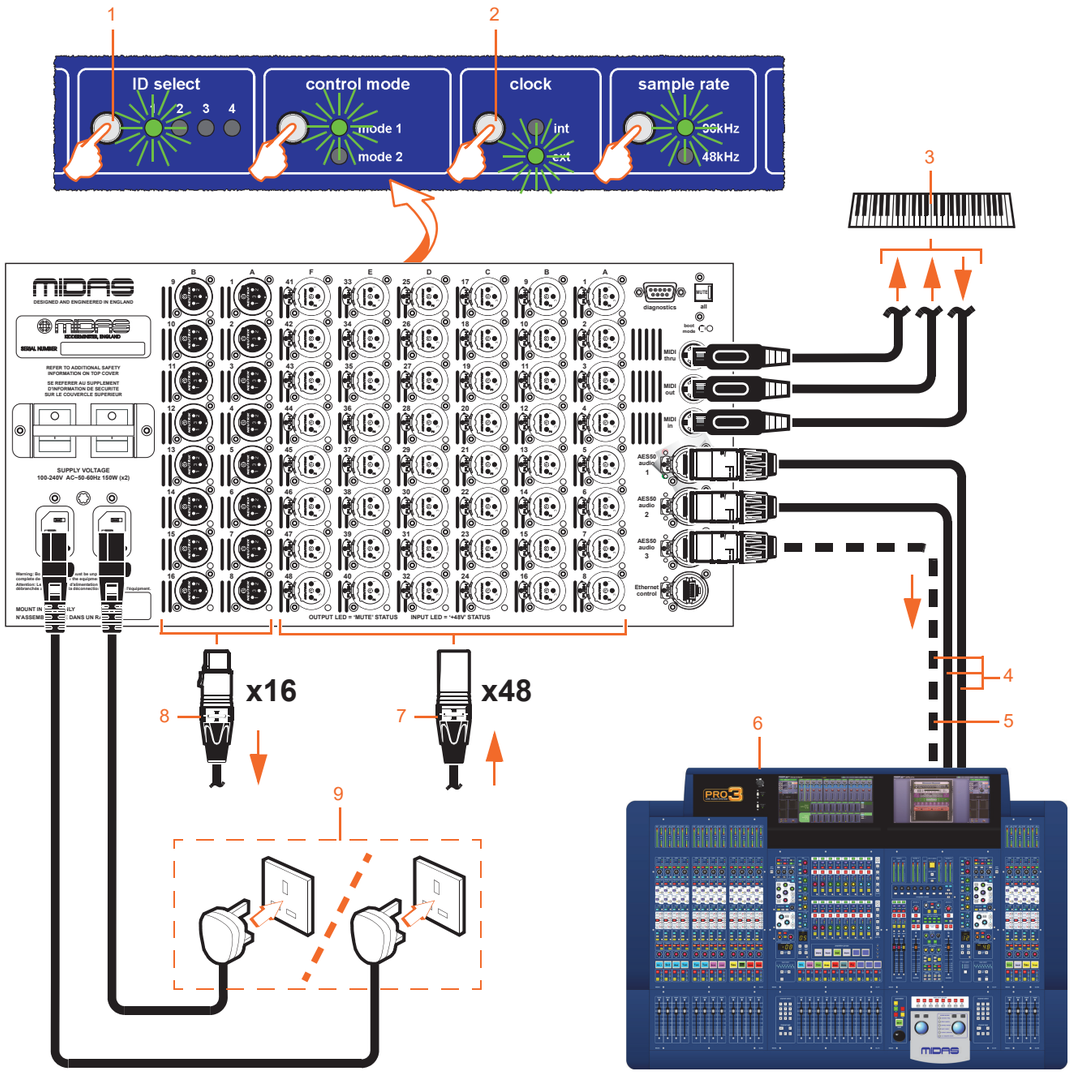
12 メインのオン/オフアイソレータスイッチ。

13 メイン IEC ソケット。

重要：

ユニットには、付属のメインケーブルに取り付けられた Volex ロックタイプのプラグがあり、メイン IEC コネクタに接続します。正しく取り付けられると、Volex プラグが所定の位置にロックされ、緩んだり、誤ってノックされたり、引き抜かれたりするのを防ぎます。

DL251 接続



JP

5. DL251 接続

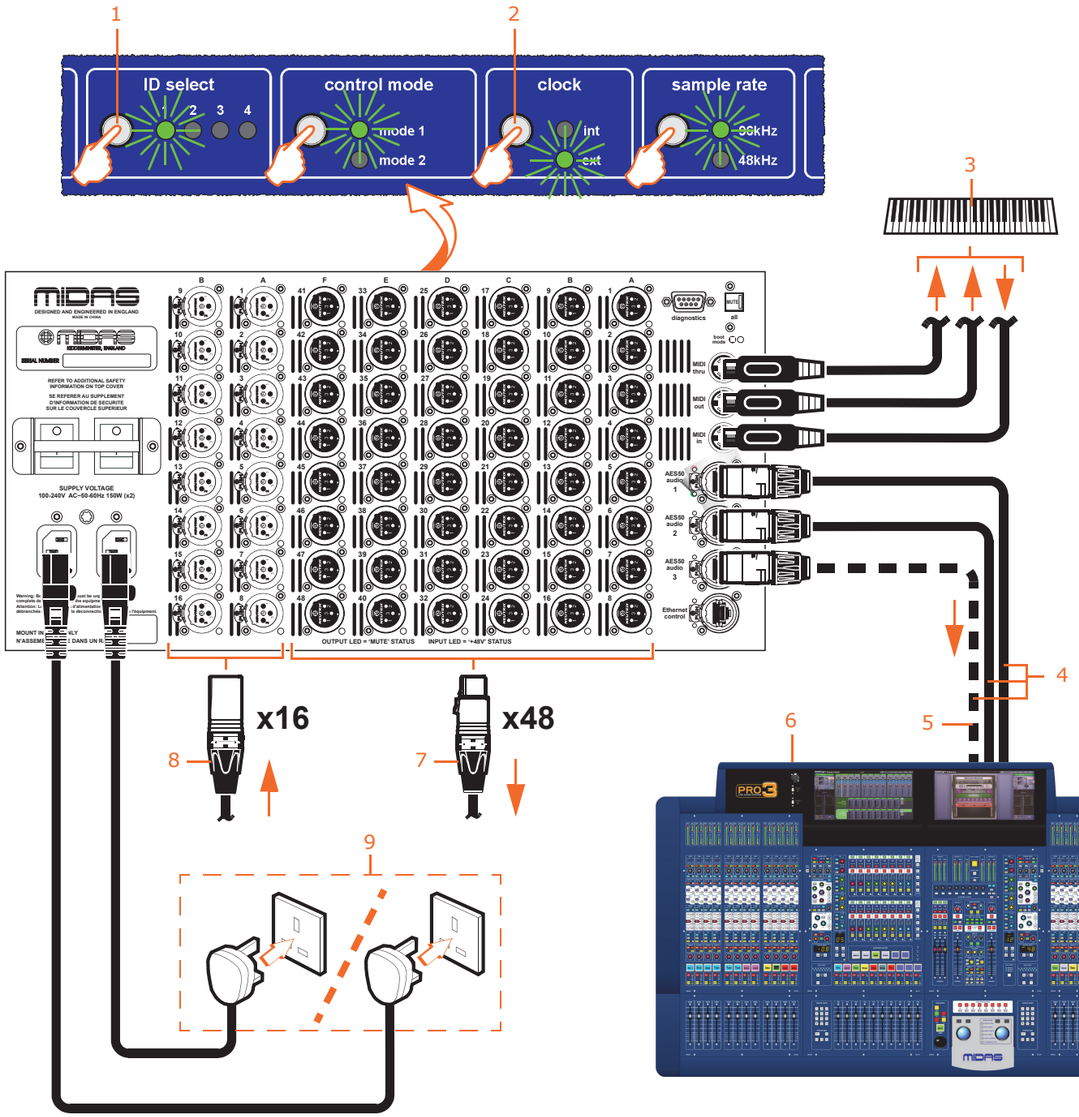
DL251 とデジタルコンソール（96 kHz 動作）

典型的な DL251 からデジタルコンソールへの接続構成。AES50 オーディオ接続は 96 kHz 動作を提供し、冗長スペアを含みます。

各メインインレットは、壁に取り付けられた独自のメインアウトレットソケットから供給される必要があります。それ以外の場合は、地域の安全規制を満たすために、それらの主電源を適切に分散させる必要があります。

1. コントロールセンターの設定ページで設定されたものと一致する一意のユニットID。
2. DL251 がクロックマスターへの AES50 接続と同期している場合は、extに設定します。この DL251 をクロックマスターにする場合は、int に設定します。
3. MIDI デバイス（キーボードなど）。
4. AES50 オーディオ。
5. 冗長スペア。
6. 典型的な Midas デジタルコンソール（たとえば、PRO3）。
7. マイク/ライン入力。
8. ライン出力。
9. 個別のメインアウトレット。

DL252 接続



JP

5. DL252 接続

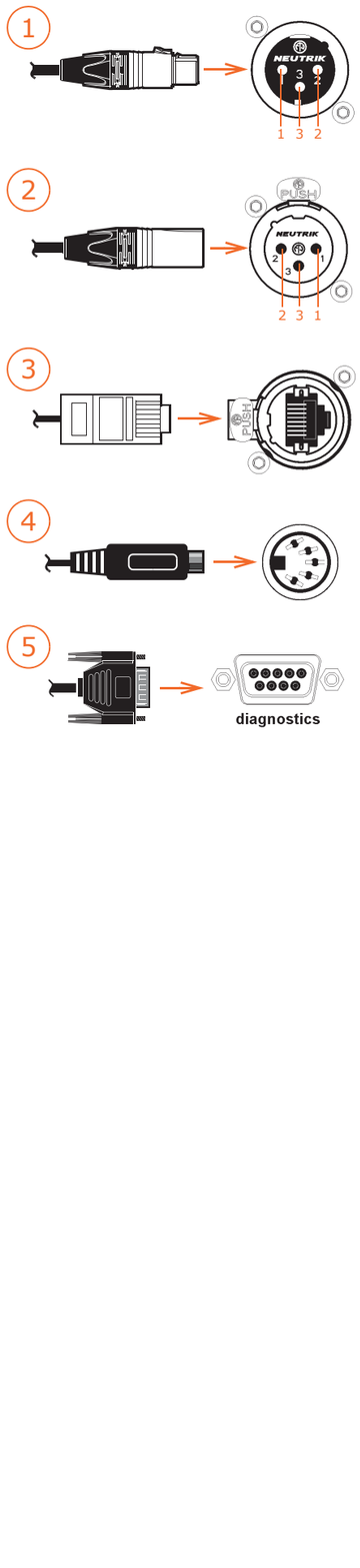
DL252 とデジタルコンソール（96 kHz 動作）

典型的な DL252 からデジタルコンソールへの接続構成。AES50 オーディオ接続は 96 kHz 動作を提供し、冗長スペアを含みます。

各メインインレットは、壁に取り付けられた独自のメインアウトレットソケットから供給される必要があります。それ以外の場合は、地域の安全規制を満たすために、それらの主電源を適切に分散させる必要があります。

1. コントロールセンターの設定ページで設定されたものと一致する一意のユニットID。
2. DL252 がクロックマスターへの AES50 接続と同期している場合は、extに設定します。この DL252 をクロックマスターにする場合は、intに設定します。
3. MIDI デバイス（キーボードなど）。
4. AES50 オーディオ。
5. 冗長スペア。
6. 典型的な Midas デジタルコンソール（たとえば、PRO3）。
7. ライン出力。
8. マイク/ライン入力。
9. 個別のメインアウトレット。

DL252 コネクタ



5. DL252 コネクタ

機器の正確で信頼性の高い動作を保証するには、高品質のバランスの取れた、遮蔽されたツイストペアオーディオケーブルのみを使用する必要があります。

XLRコネクタシェルは、コンソール/スネークに接続したときにスクリーンを提供するように金属構造である必要があり、必要に応じて、ケーブルスクリーンにピン1を接続する必要があります。

1. ライン出力オーディオコネクタ。次のピン配列のメス XLR プラグとオス XLR シャーシコネクタ：1＝アース。2＝暑い; および 3＝寒い。
2. マイク/ライン入力オーディオコネクタ。次のピン配列のオス XLR プラグとメス XLR シャーシコネクタ：1＝アース。2＝暑い; および 3＝寒い。
3. イーサネットソケット。RJ45 プラグと EtherCon® ソケット。
4. MIDI コネクタ（入力、出力、またはスルー）。5 ピンプラグとソケット。
5. 診断。9 ウェイ、D タイプのプラグとソケット。

DL251/DL252 ユニットの使用

JP

6. DL251 / DL252 の使用

DL251 / DL252のユーザー機能は限られていますが、このセクションでは、すべての出力を同時にミュートする方法と、ブートモードを使用する方法を示します。

感電を防ぐため、カバーを外した状態で装置を操作しないでください。安全ガードが無効であるか、その有効性が低下している場合は、機器またはその部品を操作しないでください。

すべての出力を同時にミュートする

ミュート機能は、すべての出力を同時にミュートし、すべてのマイクアンプをAES50インターフェイスから切断します。これは、これらの入力から供給される他の出力をミュートする効果があります。

MUTEボタンは、1秒間押すとアクティブになり、0.5秒間離すと非アクティブになります。ボタンの一体型の赤いLEDが点灯して、ミュートがアクティブになったことを示します。

ブートモードの使用

このサービス担当者専用機能は、通常の操作モードと構成モードのどちらかを選択するために使用されます。

DL251/DL252 技術仕様

7. 技術仕様

このセクションには、DL251 および DL252 ユニットの技術仕様が含まれています。

継続的な改善の方針により、Midas は予告なしにいつでも機能または仕様を変更する権利を留保します。

DL251 / DL252 の一般的な統計

XLR 接続	
DL251	
1 x5UラックI / Oボックスハウス：	48 x (XLR) マイク/ライン入力
	16 x (XLR) ライン出力
DL252	
1 x5UラックI / Oボックスハウス：	16 x (XLR) マイク/ライン入力
	48 x (XLR) ライン出力
レジリエンス	
N +1ケーブル冗長性とデュアル冗長PSU	

DL251 / DL252 の一般仕様

サンプリング周波数	48 kHz / 96 kHz スネーク; Midas コンソールで 96 kHz
レイテンシーの遅延	<1ms の直接接続入力から出力
ダイナミックレンジ	107 dB、22 Hz～22 kHz (プリエンファシスなし)
最大電圧利得	45 dB
クロストーク @1 kHz	-100 dB の物理的に隣接する入力チャネル
クロストーク @10 kHz	-物理的に隣接する 90 dB の入力チャンネル
寸法	DL251： 深さ 5U x 410 mm DL252： 深さ 5U x 410 mm
正味重量	DL251 : 10 kg DL252 : 10 kg
積み込み重量	DL251 : 18 kg DL252 : 18 kg
電力要件	100V～240V AC±10%、50～60Hz
115V での消費電力	1 PSU : 85W、85VA2 PSU : 110W、110VA
230V での消費電力	1 PSU : 90W、100VA2 PSU : 110W、135VA
動作温度範囲	+ 5°C～ + 40°C
保管温度範囲	-20°C から+ 60°C

DL251 / DL252 オーディオパフォーマンス仕様

入力	出力	利得	20 Hz	20 kHz
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	0dB	0dB～-1.0dB	0dB～-1.0dB
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	40dB	0dB～-1.0dB	0dB～-1.0dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	0dB	0dB～-1.0dB	0dB～-1.0dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	40dB	0dB～-1.0dB	0dB～-1.0dB

1 kHz でのゲイン誤差

入力	出力	利得	最大	最小
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	0dB	+ 1.0dB	-1.0dB
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	40dB	+ 1.0dB	-1.0dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	0dB	+ 1.0dB	-1.0dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	40dB	+ 1.0dB	-1.0dB

入力 CMRR

入力	出力	利得	100Hz	1kHz
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	0dB	60dB	60dB
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	40dB	90dB	90dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	0dB	60dB	60dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	40dB	90dB	90dB

0dBu での歪み

入力	出力	利得	1kHz	10kHz
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	0dB	0.01%	0.01%
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	40dB	0.03%	0.03%
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	0dB	0.01%	0.01%

+ 20 dBu での歪み

入力	出力	利得	1kHz	10kHz
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	0dB	0.03%	0.03%
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	40dB	0.03%	0.03%
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	0dB	0.03%	0.03%

信号経路ノイズ 22 Hz～22 kHz 重み付けなし（入力 150R 終端）

入力	出力	利得	出力ノイズ	EIN
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	0dB	-86dBu	-86dBu
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	40dB	-86dBu	-125dBu
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	0dB	-86dBu	-86dBu
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	40dB	-86dBu	-125dBu

ダイナミックレンジ 22 Hz～22 kHz 重み付けなし

入力	出力	利得	出力ノイズ	EIN
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	0dB	+ 21dBu	107dB
DL251 I / O ボックス	DL252 I / O ボックス	40dB	+ 21dBu	106dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	0dB	+ 21dBu	107dB
DL252 I / O ボックス	DL251 I / O ボックス	40dB	+ 21dBu	106dB

JP

DL251 / DL252 システムの入力と出力

I / O ボックス入力	
コネクタ	3 ピン XLR バランス
A / D コンバーター	24 ビット、96 kHz、128 倍のオーバーサンプリング
ボックスアナログ出力	
コネクタ	3 ピン XLR バランス
D / A コンバーター	24 ビット、96 kHz、128 倍のオーバーサンプリング
ミディ	
MIDI コネクタ	5 ピン DIN でのイン、アウト、スルー (Midas コンソールでのみ使用)
48 kHz I / O デジタルシステムの入力と出力	
システムコネクタ (1)	EtherCon®XLR の 1 x AES50 (48 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
冗長コネクタ (2)	冗長バックアップを提供する EtherCon®XLR 上の 1x AES50 (双方向デジタルオーディオの48チャネル)
追加コネクタ (3)	使用されていない
96kHz I / O デジタルシステムの入力と出力	
システムコネクタ (1 および 2)	EtherCon®XLR の 2x AES50 (24 チャンネルの双方向デジタルオーディオ)
N + 1 コネクタ (3)	1 x AES50 (EtherCon®XLR の 24 チャンネルの双方向デジタルオーディオで冗長バックアップを提供

DL251 / DL252 の入出力特性

アナログ入力特性

入力	Zをロード	利得	最大 レベル	コネクタ
DL251 I / O ボックス	10k	-2.5dB～ + 45dB	+ 24dBu	XLR
DL252 I / O ボックス	10k	-2.5dB～ + 45dB	+ 24dBu	XLR

アナログ出力特性

出力	ソースZ	利得	最大 レベル	コネクタ
DL251 I / O ボックス	50R	0dB	+ 21dBu	XLR
DL252 I / O ボックス	50R	0dB	+ 21dBu	XLR

48 kHz デジタル I / O 特性	
タイプ	AES50
チャンネル	48
データ長	24 ビット
I / O	双方向
説明メモ	AES50-2006 に準拠
コネクタ	EtherCon®XLR
96 kHz デジタル I / O 特性	
タイプ	AES50
チャンネル	24
データ長	24 ビット
I / O	双方向
説明メモ	AES50-2006 に準拠
コネクタ	EtherCon®XLR

DL251 / DL252 サービス情報

8. サービス情報

このセクションでは、ユニットのサービス情報を提供します。

このセクションの手順について疑問がある場合、または質問がある場合は、Midas テクニカルサポートにお問い合わせください。連絡先の詳細は、このマニュアルの冒頭に記載されています。

定期メンテナンス

ユニットを正常に機能させ、最適なパフォーマンスが得られるようにするために、次のメンテナンススケジュールに従うことをお勧めします。

アクション	毎月	毎年
ユニットを清掃します（以下の「ユニットの清掃」を参照）。	はい	–
操作の自由度については、プッシュボタンなどのすべてのコントロールを確認してください。	はい	–
LED などのすべてのコントロールとインジケーターの機能を確認します。	はい	–
機器の機能を確認してください。	はい	–
内部ファンを清掃します（以下の「内部ファンの清掃」を参照）。	はい	–

ユニットの清掃

ユニットの電源を切り、主電源から電気的に絶縁してから清掃してください。

乾いた糸くずの出ない布を使用してユニットを清掃します。過酷な研磨剤や溶剤は使用しないでください。

内部ファンのクリーニング

この手順は、完全な資格を持つサービスエンジニアが実行する必要があります。

ほこりや汚れなどの蓄積を取り除くために、ユニットの内部ファンを定期的に清掃する必要があります。ユニットが通常の状態で動作している場合は、少なくとも年に1回は清掃することをお勧めします。ただし、スモークマシンや新しいカーペットなどの近くでユニットを操作する場合など、操作条件がより悪いまたは極端な場合は、それに応じてこの頻度を増やす必要があります。

機器の廃棄

この機器の耐用年数が終了すると、その廃棄は、廃電気電子機器（WEEE）に関する 2003 年 1 月 27 日の欧州議会および理事会の指令 2002/96 / EC に基づく可能性があります。

WEEE に含まれる有害物質は、水、土壌、空気を汚染し、最終的には環境と健康を危険にさらします。この指令は、WEEE の寿命中および廃棄物が環境に与える影響を最小限に抑えることを目的としています。

WEEE 指令は、製品が寿命に達したときの廃棄に対処し、天然資源の無駄な消費の削減に貢献します。これは、汚染を減らし、環境と私たち自身を保護するのに役立ちます。



この機器に「取り消し線付きのゴミ箱」（左図）が付いている場合は、WEEE を未分類の都市ごみとして処分せず、地域のWEEE法に従って収集して処分してください。下の水平バーは、製品が 2005 年 8 月 13 日以降に EU 市場に投入されたことを示しています。

WEEE の廃棄については、当社の Web サイト www.midasconsoles.com を参照してください。

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。